



北島 元雄
090-4065-2120
ご意見ご要望は



長谷田 公子
070-5564-6271
sigidan@jcp-isesaki.net

ふくしプラザ老朽化放置せず適切なメンテナンスを

ふくしプラザの建設から30年、建物の耐用年数47年までにはまだありますが、空調や給排水設備は老朽化で次々と壊れています。4月にも5階機械室の漏水で4階まで水浸しに。ホールは「エアコンの利きが悪く夏冬の利用は保証できない、音響も途切れる」(利用者団体への説明)のに修繕もしません。

高齢者生き生き活躍条例を策定しましたが、高齢者の施設はメンテナンスが悪く、設備故障のたび長期に利用中止になっています。壊れるまで放置せずしっかりしたメンテナンスで事前に対策を取るよう求めました。



ふくしプラザを調査する市議団

臨時職員の処遇改善を 勤勉手当支給へ

市長部局の市職員の内23%(270人)は臨時の会計年度任用職員(1年以内の雇用再任用あり)です。教育部局は66%(434人)で、たくさんの非正規職員が働いていますが、正規とは雇用条件が大きく違います。

3年前から期末手当を支給することになりましたが、代わりに勤務時間を減らし、人件費の総額を変えず処遇改善どころか月々の給与は減額になった人が多数出ました。

来年度からは勤勉手当も支給できるようになりましたが、同様なことが起こらないよう生活できる給与保障を要望しました。

教育部局では給食センターなど学期ごとの採用も多く、期末手当が出ない臨時の方が245人もいます。同じ市職員に見えますがいつ雇い止めになるかわからず、給与も大きく違います。引き続き臨時職員の処遇改善を求めています。

新学期から先生がいらない

産休や育休、病休などの代替え教員が配置できなくて、他の先生が授業の穴を埋めています。昨年は2学期初めに12人も先生が足りず、年度末まで充足できませんでした。

今年度は新学期初めからすでに1名補充できず、6月には5人の先生が足りないという状況です。事前に代替え要員を採用し、余裕をもって人員配置するなどの抜本的対応が必要です。

安上がりな臨時教員で対応しようとするから、子どもたちにしわ寄せがいくのです。

飼い猫の避妊手術に補助

コロナでペットの飼育が増えていますが、猫は避妊手術をしないとたちまち頭数が増えて、捨て猫などの原因になります。現在県内35市町村のうち22市町村で飼い猫の避妊手術に対する補助制度がつくられており、「伊勢崎市でもぜひ導入を」と求めました。

「捨て猫防止などのために避妊手術料への補助を検討する」との答弁がありました。